

IgA 血管炎のため入院経験のある 患者さんまたはご家族の方へ 臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立今治病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させていただきますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 IgA 血管炎急性期スコアの検証、確立に向けた多施設共同研究

【研究の目的】

IgA 血管炎は全身の血管に炎症を起こす病気です。ほとんどは自然に軽快しますが、一部の患者さんで強い腹部症状(腹痛、血便など)を出す事があります。また、回復期に合併する腎炎の有無がお子様の将来に最も影響を及ぼす因子となります。 私達はすでに、この強い腹部症状や腎炎をどの程度起こし得るのか、発症早期に評価する為のスコアシステムを構築しました。さらにこのスコアの信頼性を高めるため、さらに多くの IgA 血管炎の患者さんの情報を得たいと考えています。

【対象となる方】

2017年1月1日～2020年12月31日までに入院治療した小児 IgA 血管炎患者

【使用する検体・診療情報】

検体:入院時血液検査(WBC, Hb, Ht, Plt, PTINR, APTT, Fib, D-dimer, fXIII, TP, Alb, AST, ALT, LDH, BUN, Cre, Na, K, Cl, CRP, PCT, IgG, IgA, IgM, ASO, C3, C4, Ch50) 尿検査所見(定性、u-prot, Cre, b2MG, NAG)

腎炎発症時血液検査(WBC, Hb, Ht, Plt, PTINR, APTT, Fib, D-dimer, fXIII, TP, Alb, AST, ALT, LDH, BUN, Cre, Na, K, Cl, CRP, PCT, IgG, IgA, IgM, ASO, C3, C4, Ch50)

カルテ情報: カルテ番号、生年月日、症状発現日、発症時症状、入院時症状、全経過の症状、急性期治療、腎炎合併の有無、腎生検の有無、腎炎に対する治療

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から 2020 年 12 月 31 日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立今治病院 小児科 医監部長 村上 至孝

【問い合わせ先】

今治市石井町 4 丁目 5-5

愛媛県立今治病院

小児科 医監部長 村上 至孝

電話 0898-32-7111 FAX 0898-22-1398